



Since 1946  
Brightening the Future

# 2022年度(2023年3月期) 第2四半期決算概要について

新光電気工業株式会社



# 目次

## 2022年度 第2四半期決算概要（連結）

決算概況	2
プラスチックパッケージ	6
メタルパッケージ	8
部門別売上高	10

## 2022年度 通期の見通し（連結）

売上高・損益・配当	11
設備投資額・減価償却費・研究開発費	13

# 2022年度 第2四半期決算概要（連結）

## 決算概況

（単位：億円）

	2021年度 2 Q累計	2022年度 2 Q累計	前年同期比		予想比	
			増減率	7/29予想	増減	
売上高	1,259	1,570	+311	25%	1,590	-20
営業利益 (営業利益率)	301 (24%)	510 (32%)	+209	69%	490	+20
経常利益 (経常利益率)	316 (25%)	546 (35%)	+231	73%	530	+16
純利益※ (純利益率※)	217 (17%)	379 (24%)	+162	74%	370	+9

※ 親会社株主に帰属する四半期純利益

1株当たり四半期純利益	160.71円	280.34円
-------------	---------	---------

# 2022年度 第2四半期決算概要（連結）

## 概況

- 半導体業界は、自動車、産業機器向けなどの需要が堅調に推移した一方で、中国におけるロックダウンやロシア・ウクライナ紛争、世界的なインフレ進行による影響や、パソコン、スマートフォン向け需要の減少などにより、半導体市況の減速感が強まる状況となった。
- 当社グループにおいては、フリップチップタイプパッケージは、パソコン向けの需要減少等の影響を受けたものの、為替相場が円安基調で推移したことなどにより増収。半導体製造装置向けセラミック静電チャックは受注が好調に推移し、I C組立はハイエンドスマートフォン向けに需要が大きく増加したことに加え、大幅な円安の進行も寄与し、売上が増加。
- **前年同期比で売上高25%増、各利益とも増益。**

# 2022年度 第2四半期決算概要（連結）

## セグメント別売上高・経常利益

（単位：億円）

セグメント		2021年度 2Q累計		2022年度 2Q累計		前年同期比 増減率 (%)	2021年度	
			構成比(%)		構成比(%)			構成比(%)
売上高 ※1	プラスチックパッケージ	793	(63)	956	(61)	21	1,694	(62)
	メタルパッケージ	424	(34)	558	(35)	32	929	(34)
	その他	43	(3)	56	(4)	31	96	(4)
	合計	1,259	(100)	1,570	(100)	25	2,719	(100)
経常利益 ※2	プラスチックパッケージ	228	(29)	343	(36)	50	509	(30)
	メタルパッケージ	88	(21)	202	(36)	129	235	(25)
	その他/調整額	△1		2			14	
	合計	316	(25)	546	(35)	73	758	(28)

※1 外部顧客への売上高

※2 セグメント間取引調整前の経常利益

# 2022年度 第2四半期決算概要（連結）

## 財政状態、設備投資・減価償却費等

（単位：億円）

	2021年度 2 Q	2022年度 2 Q
総資産	2,696	3,761
純資産	1,726	2,375
自己資本比率	64%	63%

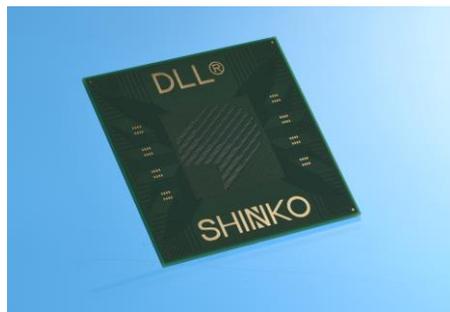
2021年度
3,195
2,020
63%

	2021年度 2 Q累計	2022年度 2 Q累計
設備投資額※	371	158
減価償却費※	115	161
研究開発費	17	18
為替レート(1米ドル)	108円	132円

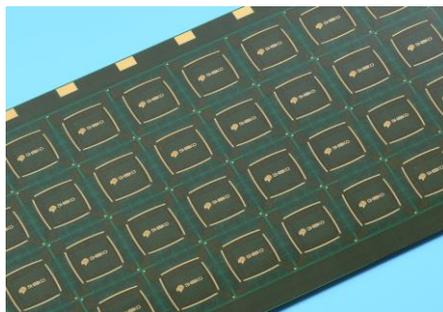
2021年度
575
300
35
111円

※ 無形固定資産を除く

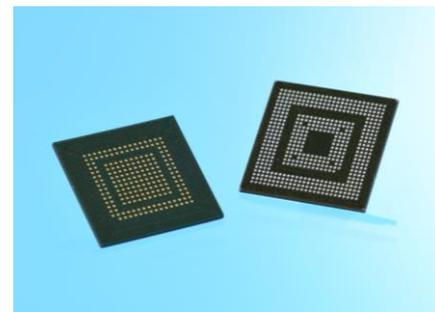
## プラスチックパッケージ



フリップチップタイプ  
パッケージ



プラスチックBGA基板



IC組立

### 【主な搭載製品例】

パソコン、サーバー、スマートフォン、民生機器 他

# 2022年度 第2四半期決算概要（連結）

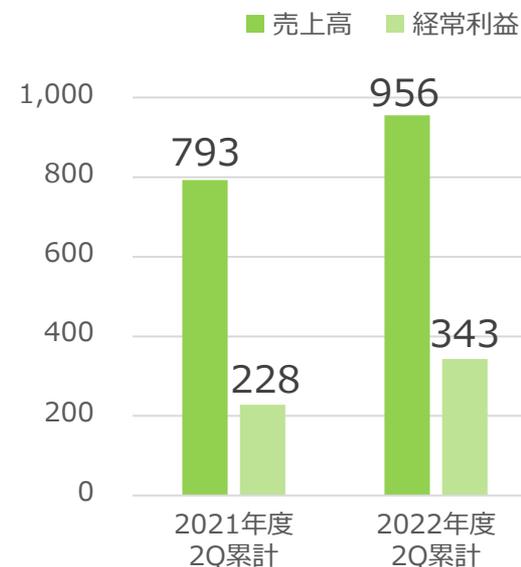
## プラスチックパッケージ

（単位：億円）

	2021年度 2 Q 累計	2022年度 2 Q 累計	前年同期比	
			増減率	
売上高（構成比）	793（63%）	956（61%）	+163	21%
経常利益（利益率）	228（29%）	343（36%）	+115	50%

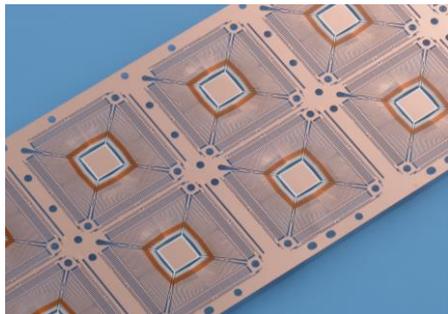
I C組立等の需要増加に加え、大幅な円安の進行などにより、前年同期比増収増益

- フリップチップタイプパッケージは、第2四半期においてパソコン需要減少等の影響を受けたものの、為替相場が円安基調で推移したことなどにより増収
- I C組立はハイエンドスマートフォン向けに需要が大きく増加し、プラスチックBGA基板は先端メモリー向けや自動車向けが好調に推移したことに加え、大幅な円安の進行などにより、売上が大きく増加

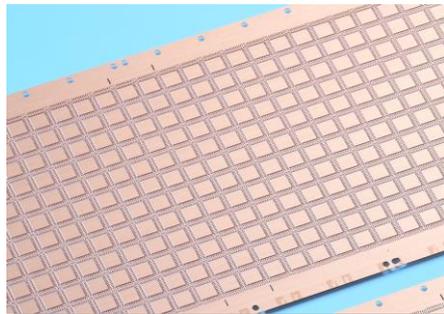


# 2022年度 第2四半期決算概要（連結）

## メタルパッケージ



プレスリードフレーム



エッチングリードフレーム  
(QFNタイプ)



セラミック静電チャック



ガラス端子



ヒートスプレッダー

### 【主な搭載製品例】

自動車、スマートフォン、民生機器、半導体製造装置、通信機器 他

# 2022年度 第2四半期決算概要（連結）

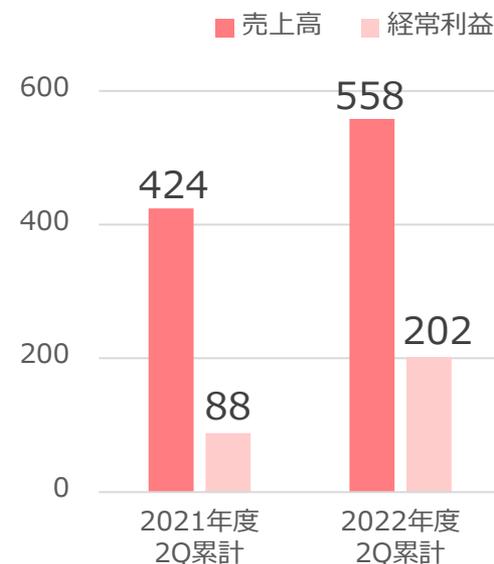
## メタルパッケージ

（単位：億円）

	2021年度 2 Q累計	2022年度 2 Q累計	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高（構成比）	424（34%）	558（35%）	+134	32%
経常利益（利益率）	88（21%）	202（36%）	+114	129%

セラミック静電チャック等の受注増加に加え、大幅な円安進行も寄与し、前年同期比増収増益

- リードフレームは、第2四半期以降、半導体市況減速の影響を受け需要が減少傾向となったものの、自動車向けは堅調に推移
- セラミック静電チャックは半導体製造装置市場向けに受注が好調に推移し、CPU向けヒートスプレッダーはサーバー向け需要が増加するとともに、大幅な円安の進行も寄与し増収
- ガラス端子は光学機器向けが低調に推移し減収



# 2022年度 第2四半期決算概要（連結）

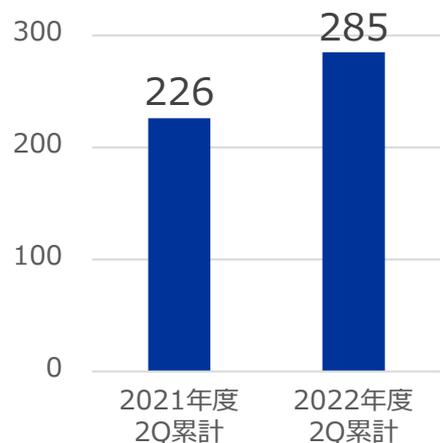
## 部門別売上高

（単位：億円）

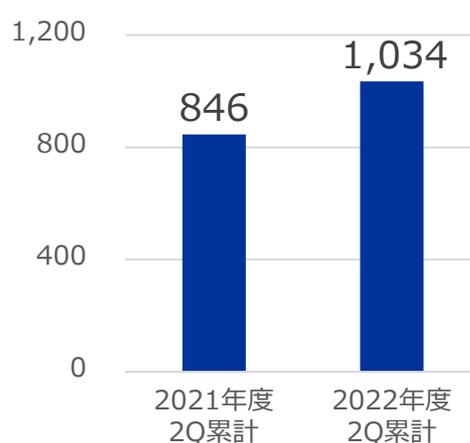
	2021年度 2 Q累計	2022年度 2 Q累計	前年同期比		2021年度
				増減率	
ICリードフレーム	226 (18%)	285 (18%)	+60	26%	499 (18%)
ICパッケージ	846 (67%)	1,034 (66%)	+188	22%	1,808 (67%)
気密部品	188 (15%)	251 (16%)	+63	34%	412 (15%)

※（ ）は構成比

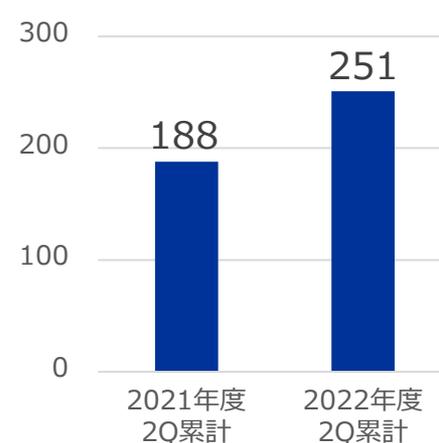
ICリードフレーム部門売上高



ICパッケージ部門売上高



気密部品部門売上高



# 2022年度 通期の見通し（連結）

## 売上高・損益・配当

（単位：億円）

	2021年度（実績）			2022年度 （上期実績・下期予想）			前期比（上段：増減金額 下段：増減比率）		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	1,259	1,460	2,719	1,570	1,650	3,220	311 (25%)	190 (13%)	501 (18%)
営業利益 (営業利益率)	301 (24%)	413 (28%)	714 (26%)	510 (32%)	420 (25%)	930 (29%)	209 (69%)	7 (2%)	216 (30%)
経常利益 (経常利益率)	316 (25%)	443 (30%)	758 (28%)	546 (35%)	424 (26%)	970 (30%)	231 (73%)	△19 (△4%)	212 (28%)
純利益※ (当期純利益率※)	217 (17%)	309 (21%)	526 (19%)	379 (24%)	291 (18%)	670 (21%)	162 (74%)	△18 (△6%)	144 (27%)
為替レート	111円/\$			132円/\$	125円/\$				

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

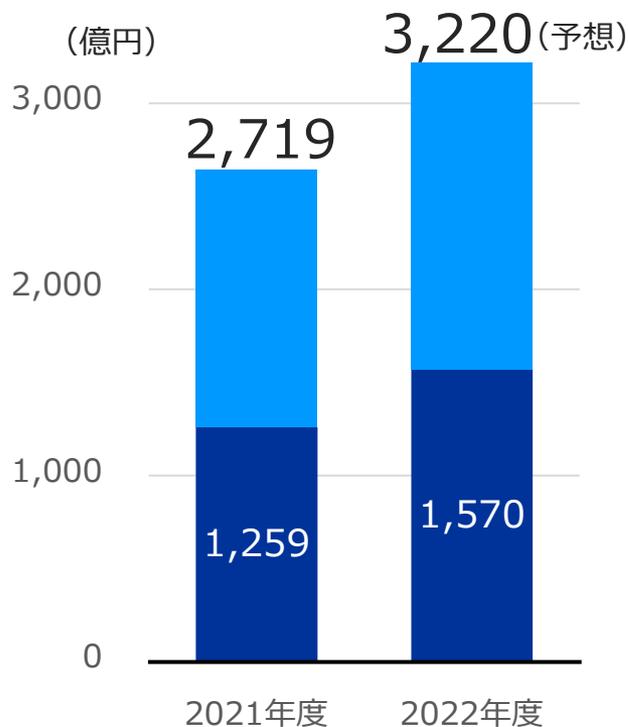
（単位：円）

1株当たり配当金 (配当性向)	17.5 [中間]	27.5 [期末]	45.0 (11.6%)	25.0 [中間]	25.0 [期末]	50.0 (10.1%)
--------------------	--------------	--------------	-----------------	--------------	--------------	-----------------

# 2022年度 通期の見通し（連結）

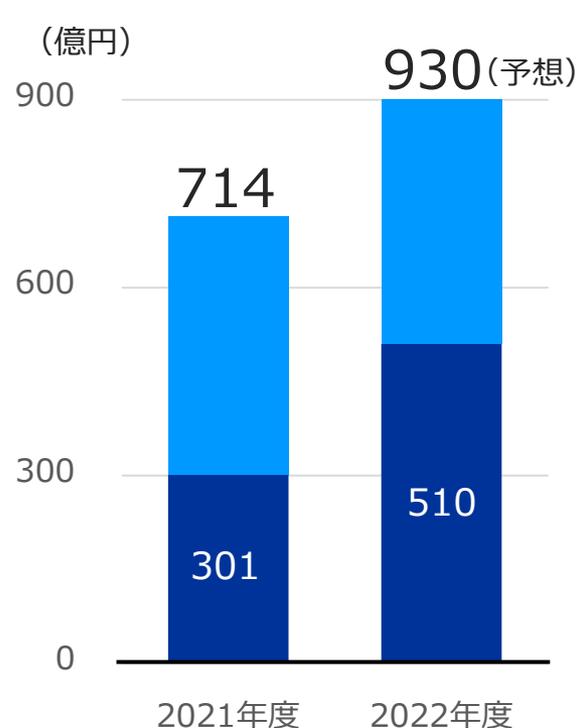
## 売上高

■ 上期 ■ 通期



## 営業利益

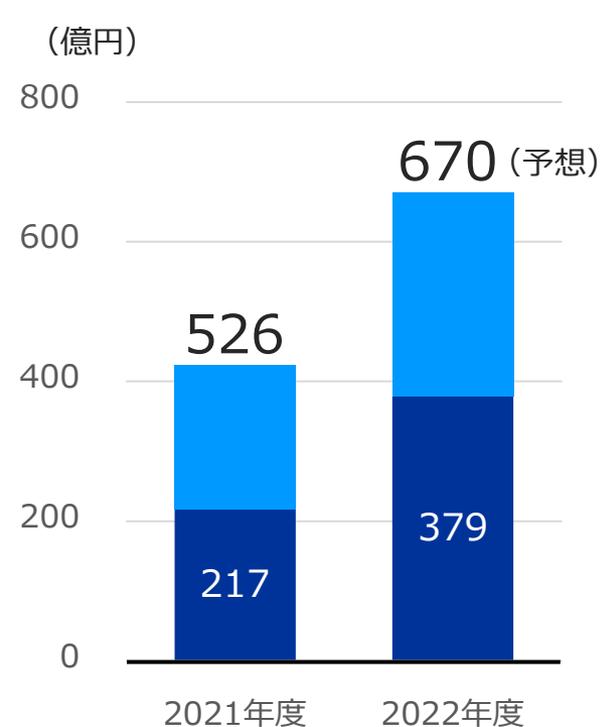
■ 上期 ■ 通期



## 純利益※

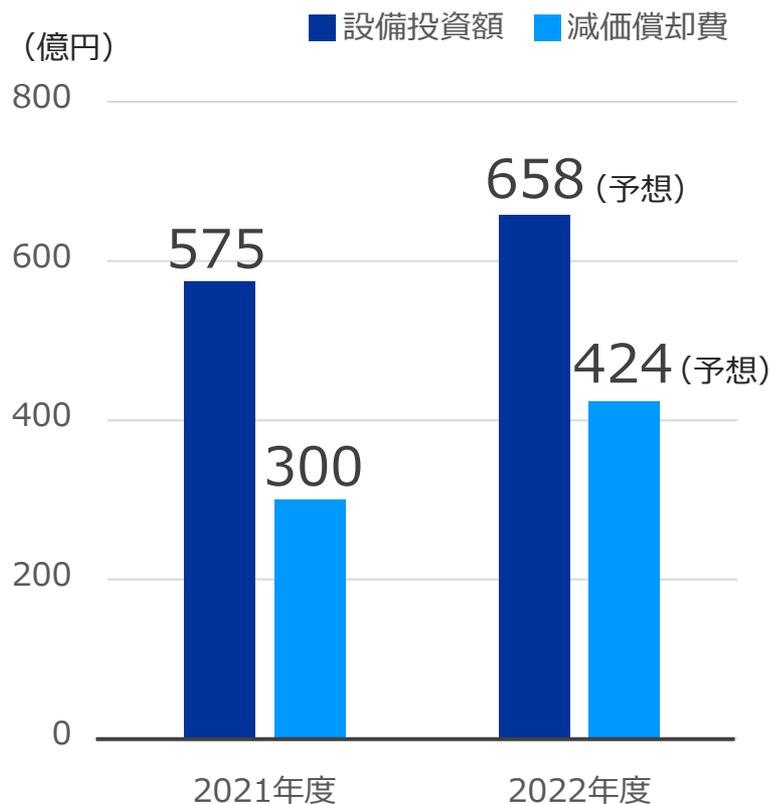
※親会社株主に帰属する当期純利益

■ 上期 ■ 通期

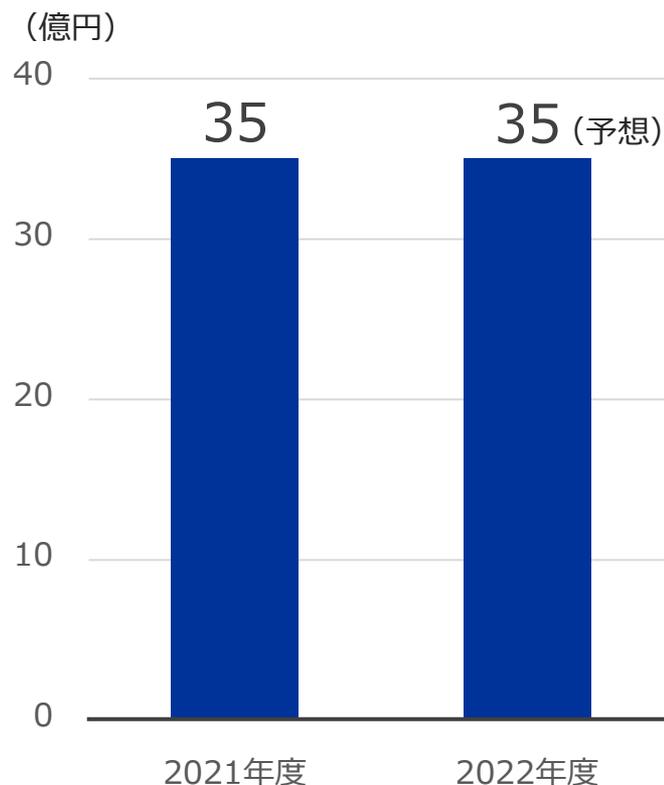


# 2022年度 通期の見通し（連結）

## 設備投資額・減価償却費



## 研究開発費



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報および合理的と判断する一定の前提に基づくものであり、将来の予想数値の実現を保証するものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位にて表示しております。決算短信等で百万単位で開示しております数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信または四半期報告書を参照していただきますようお願いいたします。